

令和5年度 学会発表・講演等

【学会発表】

1. 植田清孝. 活性型ビタミン D3 製剤の適正使用に関する薬剤師の取り組み
第 61 回 全国自治体病院学会 2023.9 (北海道)
2. 島田浩和. オキサリプラチン投与患者における悪心・嘔吐状況と制吐薬内容の実態調査
第 33 回日本医療薬学会年会 2023.11 (宮城)
3. 立原茂樹. ネオシールドの有用性および作業性評価
日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2024 2024.3 (神戸)
4. 柴このみ. 外来がん化学療法におけるトレーシングレポートによる薬学的介入の実態調査
第 13 回 日本臨床腫瘍薬学会 学術大会 2024.3 (神戸)

【講演】

1. 大神正宏. 薬剤師からみた外来化学療法室の効率的な運用
GAIRAI seminar -外来化学療法運用効率化のためのセミナー-, 2023.6 (WEB)
2. 大神正宏. がんゲノム医療に対する薬剤師の関わり
茨城県病院薬剤師会 Oncology Pharmacist Seminar vol.3, 2023.7 (WEB)
3. 大神正宏. 連携研修に来てみませんか? ~化学療法の know-how すべてお伝えします~
令和5年度県央地区薬薬連携研修会, 2023.10 (WEB)
4. 大神正宏. ペグフィルグラスチムの投与タイミングについて 地域がん診療連携拠点病院薬剤師
合同セミナー, 2023.11 (WEB)
5. 立原茂樹. 抗がん薬曝露防止対策における薬剤師の役割~CSTD 使用拡大時の取り組みを中心に~
抗がん薬曝露防止対策セミナー 2023.11 (WEB)
6. 立原茂樹. 緩和ケアの基礎知識 ーがん患者の身体的苦痛を緩和するー呼吸困難編
茨城県病院薬剤師会緩和ケア WEB セミナー 2024.2 (WEB)

【論文】

1. 中村隆二, 大神正宏, 樋口基明, 鈴木美加, 藤枝裕郎. 経口抗がん薬投与患者における補正 QT 間
隔延長に関する検討. 日本病院薬剤師会雑誌 2023; 59:374-380.

【著書】